

令和元年度

自動車騒音常時監視業務委託

報告書

令和2年3月

有限会社日本交通流動リサーチ

目 次

1. 調査概要.....	1
1. 1 目的.....	1
1. 2 名称等.....	1
1. 3 調査項目等.....	2
1. 4 調査対象区間.....	2
2. 調査.....	4
2. 1 道路調査.....	4
2. 2 沿道調査.....	5
2. 3 騒音測定方法等.....	6
1) 測定日時.....	6
2) 測定地点.....	6
3) 調査方法.....	9
2. 4 評価の指標.....	10
2. 5 測定結果.....	12
1) 騒音測定（道路端）.....	12
2) 騒音測定（背後地）.....	13
3) 交通量.....	14
4) 平均走行速度.....	15
3. 面的評価.....	16
3. 1 手順等.....	16
3. 2 面的評価結果.....	17
1) 今年度対象区間.....	17
2) 全評価区間（過年度を含む）の評価結果.....	20
3) 道路種別ごとの評価結果.....	21

資料編

- 資料1 面的評価支援システムの設定状況等
- 資料2 現地調査結果
- 資料3 自動車騒音常時監視結果報告
- 資料4 環境基準達成状況の評価区間別一括評価
- 資料5 現地調査写真

1. 調査概要

1. 1 目的

騒音規制法第 18 条第 1 項の規定に基づき、我孫子市内における主要幹線道路を対象とし、自動車騒音の状況の常時監視を実施する。また、自動車騒音常時監視報告書および環境省への報告資料を作成する。なお、環境省環境管理局自動車環境対策課が配布する面的評価支援システムを用いて、「騒音に係る環境基準の評価マニュアル」（平成 27 年 10 月環境省 以下、「評価マニュアル」という。）及び「騒音規制法第 18 条の規定に基づく自動車騒音の状況の常時監視に係る事務の処理基準について」（平成 23 年 9 月 14 日 環水大自発第 110914001 号）に沿った評価対象路線の環境基準の達成状況の把握を行い、今後の総合的な道路環境の各種施策への反映を図る資料とする。

1. 2 名称等

- 1) 委託名：令和元年度 自動車騒音常時監視業務委託
- 2) 箇所：我孫子市内の幹線道路及び沿道
- 3) 履行期間：自) 令和元年8月31日
至) 令和2年3月31日
- 4) 受託機関：有限会社日本交通流動リサーチ 千葉事務所

1. 3 調査項目等

調査項目及び数量等を表 1.3-1 に示す。

表 1.3-1 調査項目及び数量等

項 目	数 量	内容等
1. 調査		
(1)道路調査	2 区間	評価区間の道路の状況を調査。
(2)沿道調査	2 区間	評価区間沿道状況を調査。
(3)騒音測定		
①道路近傍騒音レベル	2 地点	道路近傍で 24 時間連続測定。
②背後地騒音レベル	2 地点	道路近傍地点付近の背後において昼間・夜間で各 2 回（各 10 分間）の測定。
③交通量測定	2 断面	道路近傍地点付近において昼間・夜間で各 2 回（各 10 分間）の観測。
④平均走行速度測定	2 断面	道路近傍地点付近において昼間・夜間で各 2 回の観測。
2. 面的評価	1 式	「面的評価支援システム」（環境省）を用いて初期設定・要素設定を行い、騒音推計・常時監視フォーマット等の作成を行う。
3. 報告書作成	1 式	上記調査等の報告書を作成。

1. 4 調査対象区間

調査対象区間を表 1.4-1 及び図 1.4-1 に示す。

表 1.4-1 調査対象区間

道路種別	調査単位 区間	路線番号	路線名	車線数	路面の種 類	市町村 コード	区間延長	騒音地点
一般国道	10080	6	一般国道 6 号	4	排水性	122220	0.7	○
一般国道	22130	356	一般国道 356 号	2	排水性	122220	5.1	○
地点数								2

(注) 区間延長は、「面的評価支援システム」及び「環境省報告様式」の値に合わせた。

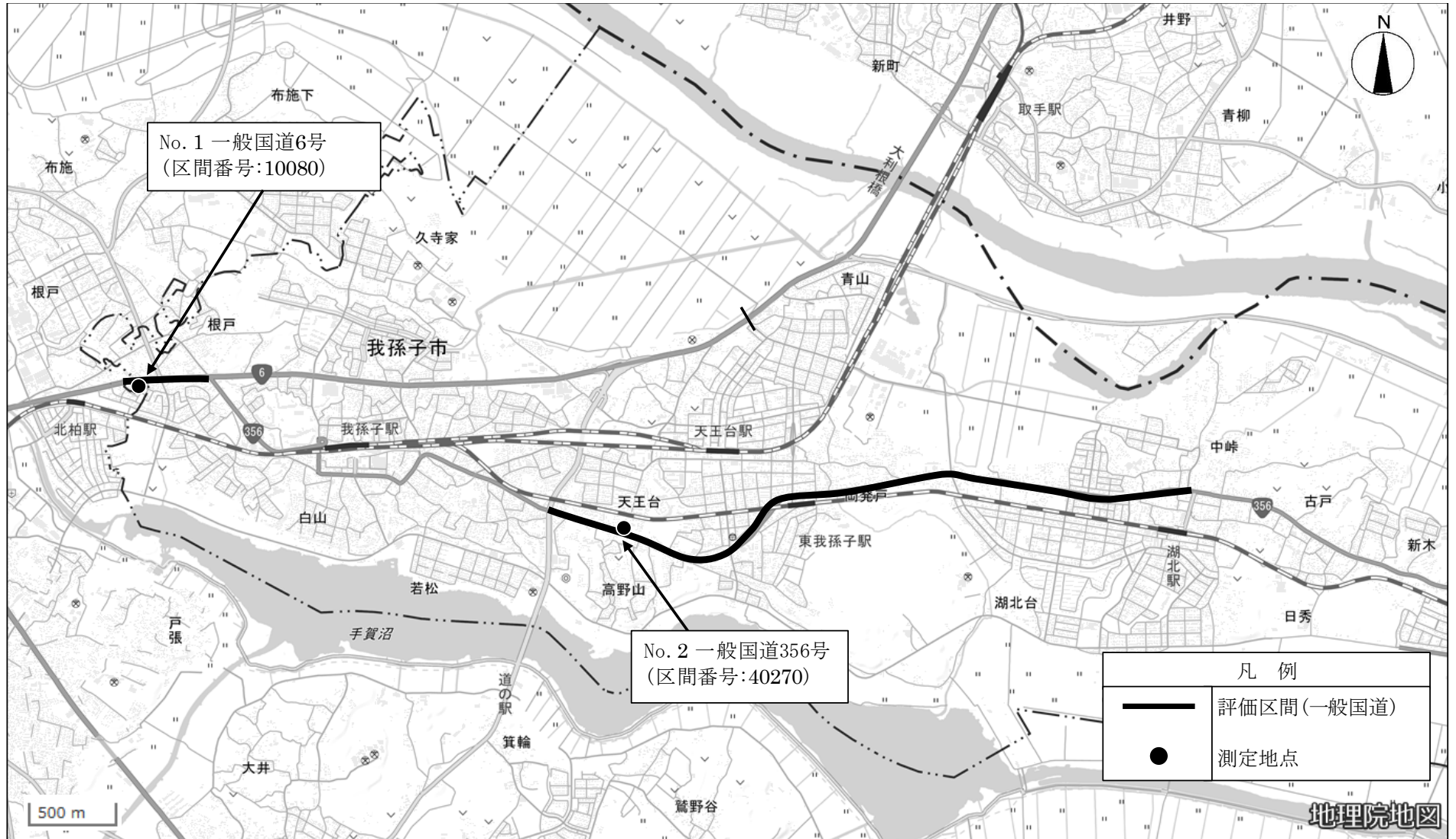


図 1.4-1 調査対象区間

2. 調 査

2. 1 道路調査

調査対象区間の道路状況を表 2.1-1 に、交通状況を表 2.1-2 に示す。

表 2.1-1 道路状況

番号	路線番号	路線名	区間番号	区間延長(km)	道路構造	車線数	路面状況	遮音壁等
1	6	一般国道 6 号	10080	0.6	平面	4	排水性舗装	無
2	356	一般国道 356 号	22130	5.1	平面	2	排水性舗装	無

(注 1) 区間延長は、「面的評価支援システム」及び「環境省報告様式」の値に合わせた

(注 2) No.2 の道路構造については一部盛土構造を含むが、区間延長が著しく短いため平面構造とみなし評価した。

表 2.1-2 交通状況(平成 27 年度道路交通センサス)

番号	路線番号	路線名	区間番号	区分	交通量 (上下合計) (台)		
					小型車	大型車	合計
1	6	一般国道 6 号	10080	昼間 12 時間	26,447	6,920	33,367
				24 時間	38,363	11,020	49,383
2	356	一般国道 356 号	22130	昼間 12 時間	9,979	564	10,543
				24 時間	12,754	1,057	13,811

2. 2 沿道調査

評価区間（道路端から 50m の範囲）の住居状況を表 2.2-1 に、用途地域を表 2.2-2 に示す。

表 2.2-1 評価区間の住居状況

番号	路線 番号	路線名	区間 番号	区間 延長 (km)	住居 戸数	集合住宅		
						建物数	階数	全戸数
1	6	一般国道 6 号	10080	0.6	227	12	2～6 階	155
2	356	一般国道 356 号	22130	5.1	1,287	67	1～4 階	449

(注) 区間延長は、「面的評価支援システム」及び「環境省報告様式」の値に合わせた

表 2.2-2 評価区間の用途地域

番号	路線 番号	路線名	区間 番号	沿道 方向	用途地域
1	6	一般国道 6 号	10080	上り側	第一種低層住居専用地域、 第一種住居地域、準住居地域、
				下り側	第一種低層住居専用地域、 第一種住居地域、準工業地域、
2	356	一般国道 356 号	22130	上り側	第一種低層住居専用地域、 第一種中高層住居専用地域、 第一種住居地域
				下り側	第一種低層住居専用地域、 第一種住居地域、 第二種住居地域

2. 3 騒音測定方法等

1) 測定日時

測定は、以下に示す日程で行った。

令和元年 10 月 16 日（水）18 時～10 月 17 日（木）8 時

2) 測定地点

測定地点を表 2.3-1 及び図 2.3-1～図 2.3-2 に示す。

表 2.3-1 測定地点

番号	路線 番号	区間 番号	路線名	調査地点住所
1	6	10080	一般国道 6 号	道路端：我孫子市台田 4 丁目 11-27 背後地：柏市北柏台 8-3
2	356	22130	一般国道 356 号	道路端：我孫子市高野山 554-1-1 背後地：我孫子市高野山 555-11

地点No.1

路線名：一般国道6号

区間番号：10080

住所：我孫子市台田4丁目11-27（道路端）

測定項目	道路交通騒音 （道路端）	道路交通騒音 （背後地）	交通量 走行速度
調査時間等	24時間	10分間×昼夜間各2回 （機器は24時間設置）	10分間×昼夜間各2回 上下別車種別10台

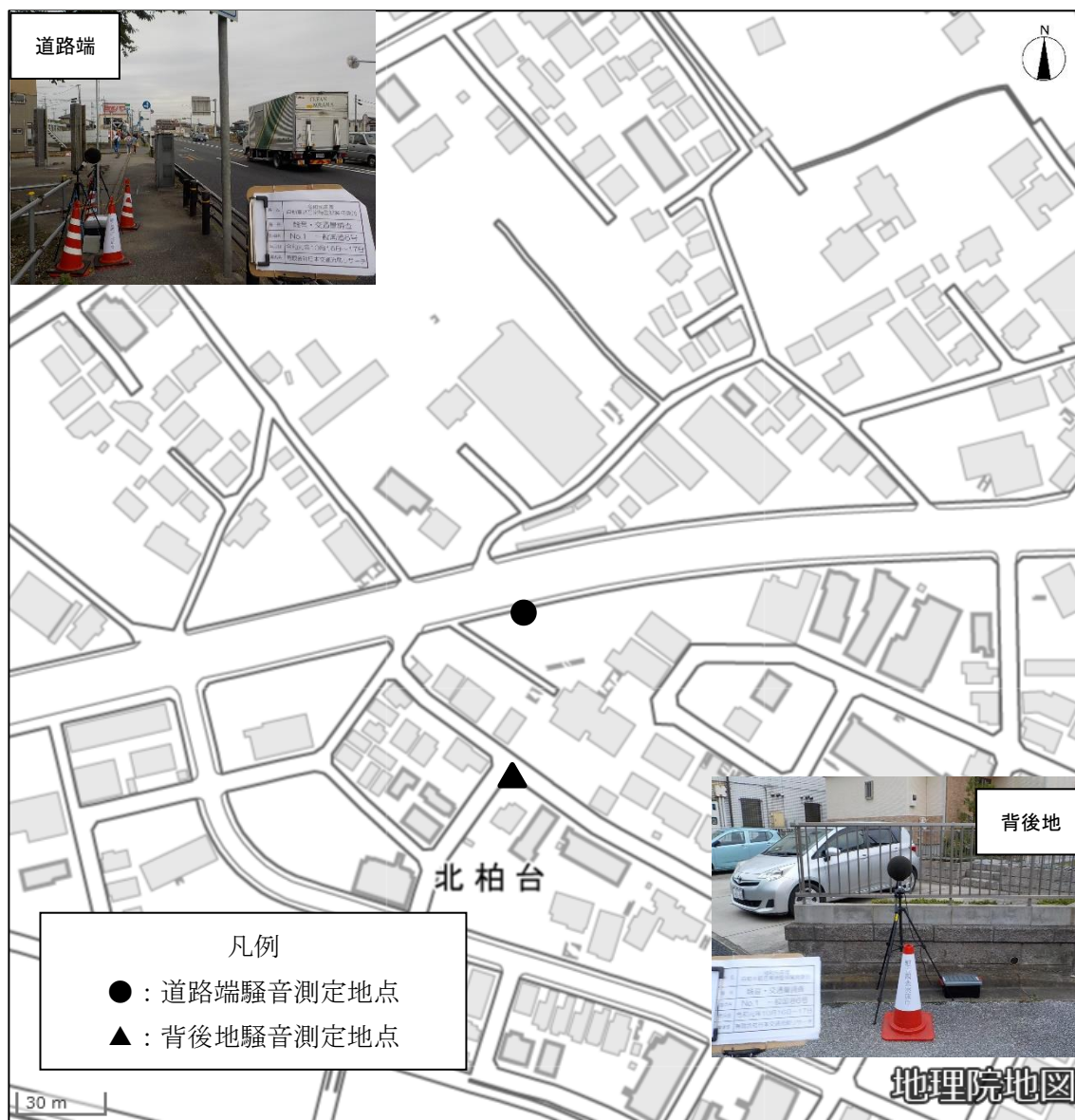


図 2.3-1 調査地点（No.1 一般国道6号）

地点No.2

路線名：一般国道 356 号

区間番号：22130

住所：我孫子市高野山 554-1-1（道路端）

測定項目	道路交通騒音 (道路端)	道路交通騒音 (背後地)	交通量 走行速度
調査時間等	24 時間	10 分間×昼夜間各 2 回 (機器は 24 時間設置)	10 分間×昼夜間各 2 回 上下別車種別 10 台

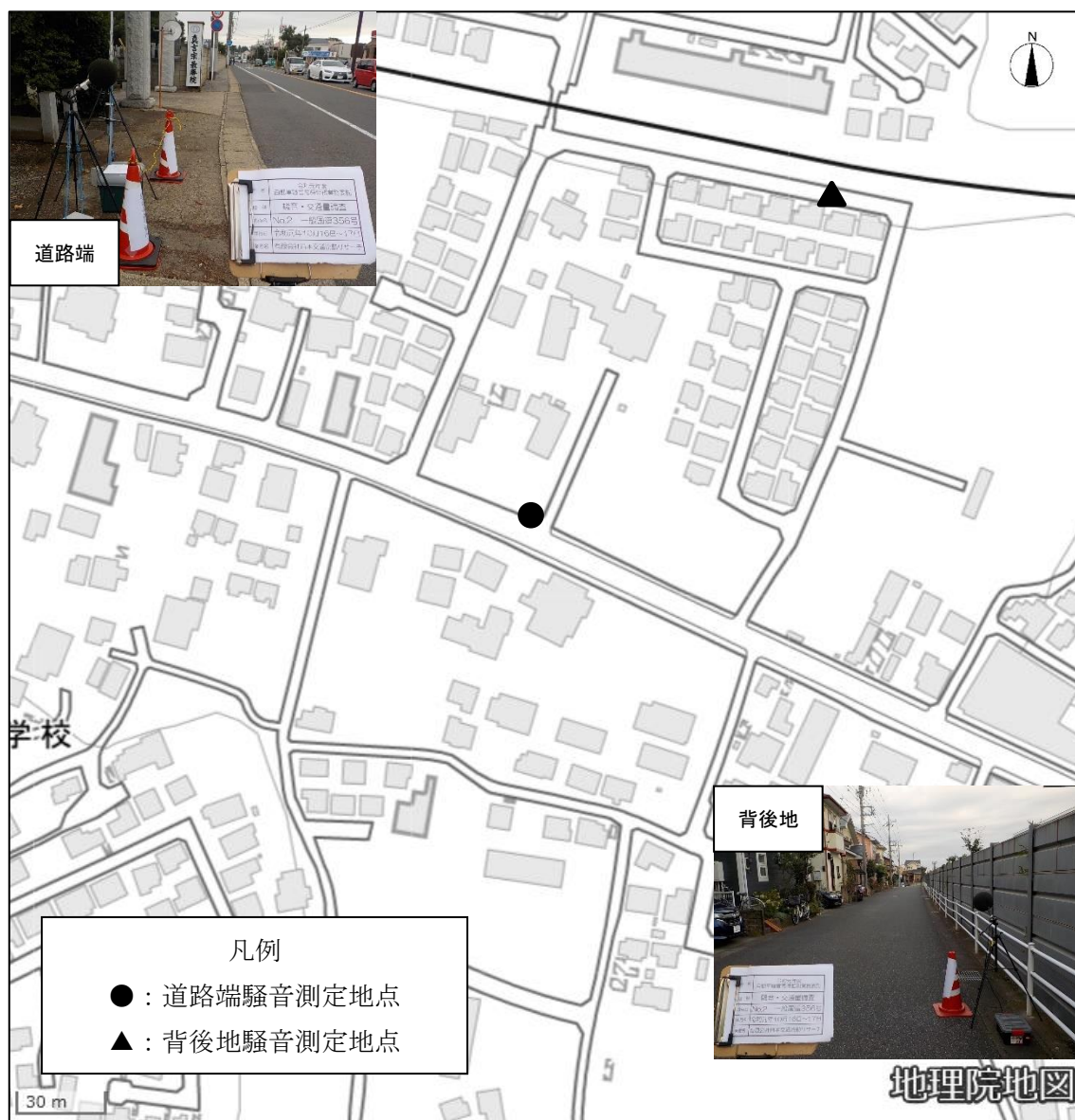


図 2.3-2 調査地点 (No.2 一般国道 356 号)

3) 調査方法

①騒音測定

騒音測定は JIS Z 8731:2019「環境騒音の表示・測定方法」に準拠した方法で行った。

測定に用いた機器及び設定等を表 2.3-2 に示す。

また、道路端の騒音を実音モニターし、集計処理の際、除外音等の確認を行った。

表 2.3-2 測定に用いた機器及び設定等

測定位置	測定時間・回数	機器	設定等
道路端	24 時間連続	リオン(株) NL-42	周波数重み特性：A 特性
背後地	10 分間測定 昼間・夜間で各 2 回		動特性：Fast
			サンプリング間隔：0.1 秒間隔
			測定高さ：地上 1.2m

(注) 昼間の時間帯は 6 時～22 時、夜間の時間帯は 22 時～6 時

②交通量・平均走行速度

交通量・平均走行速度の調査は騒音測定と同期した時間（昼間・夜間の各 2 回）で調査を行った。ただし、平均走行速度の調査は騒音測定と同期した 10 分間の時間で行った。

調査方法等を表 2.3-3 に示す。

表 2.3-3 交通量・平均走行速度の調査方法等

項目	調査時間・回数	方法等
交通量	10 分間 昼間・夜間で各 2 回	上下線別・車種別（大型車Ⅰ、大型車Ⅱ、小型車、二輪車）の通過交通量をカウントした。
平均走行速度	昼間・夜間で各 2 回	上下線別・車種別（大型車、小型車）にスピードガンで各 10 台程度計測し、平均走行速度を求めた。

(注) 昼間の時間帯は 6 時～22 時、夜間の時間帯は 22 時～6 時

2. 4 評価の指標

道路交通騒音の指標は、「騒音に係る環境基準について」（平成 10 年 9 月 30 日環境庁告示第 64 号、改正 平成 24 年 3 月 30 日環境省告示第 54 号）（以下、「騒音の環境基準」という。）の道路に面する地域及び幹線交通を担う道路に近接する空間の値を用いた。

各騒音測定地点の用途地域及び環境基準値を表 2.4-2 に示す。

表 2.4-1 騒音の環境基準（道路に面する地域及び近接空間）

地域の 類型	用途地域	道路の種類	時間の区分	
			昼間 6 時～22 時	夜間 22 時～6 時
A	第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域	2 車線以上の車線を有する道路に面する地域	60dB 以下	55dB 以下
		幹線交通を担う道路に近接する空間	70dB 以下	65dB 以下
B	第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域	2 車線以上の車線を有する道路に面する地域	65dB 以下	60dB 以下
		幹線交通を担う道路に近接する空間	70dB 以下	65dB 以下
C	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	車線を有する道路に面する地域	65dB 以下	60dB 以下
		幹線交通を担う道路に近接する空間	70dB 以下	65dB 以下

出典：「騒音に係る環境基準について」（平成 10 年 9 月 30 日環境庁告示第 64 号、改正：平成 24 年 3 月 30 日環境省告示第 54 号）

「環境基本法第 16 条第 2 項の規定による騒音に係る環境基準の地域類型ごとの地域の指定」（平成 15 年 3 月 28 日千葉県告示第 278 号、改正：平成 24 年 3 月 23 日千葉県告示第 180 号）

表 2.4-2 騒音測定地点の基準値

番号	路線 番号	区間 番号	路線名	区分	用途地域	地域の 類型等	環境基準値	
							昼間	夜間
1	6	10080	一般国道 6号	道路端	準住居地域	近接空間	70dB 以下	65dB 以下
				背後地	第一種住居 地域	(B 類型)	65dB 以下	60dB 以下
2	356	22130	一般国道 356号	道路端	第一種住居 地域	近接空間	70dB 以下	65dB 以下
				背後地	第一種住居 地域	(B 類型)	65dB 以下	60dB 以下

(注) 1.地域の類型等欄の「近接空間」は、環境基準の「幹線交通を担う道路に近接する空間」を示す。

2. 5 測定結果

1) 騒音測定（道路端）

道路端の騒音測定結果（ L_{Aeq} ）を表 2.5-1 示す。

各地点の調査結果は、昼間が 67～75dB、夜間が 63～75dB であった。

No.1（10080 一般国道 6 号）は昼間夜間ともに環境基準値を上回っていた。

No.2（22130 一般国道 356 号）は昼間夜間ともに環境基準値以下であった。

表 2.5-1 道路端の騒音測定結果（ L_{Aeq} ）

単位：dB

番号	路線番号	区間番号	路線名	時間区分	測定結果	環境基準値	評価
1	6	10080	一般国道 6 号	昼間	75	70	×
				夜間	75	65	×
2	356	22130	一般国道 356 号	昼間	67	70	○
				夜間	63	65	○

(注) 昼間の時間帯は 6 時～22 時、夜間の時間帯は 22 時～6 時。

評価の記号は以下の意味を示す。

○：環境基準値以下である。

×：環境基準値を上回っている。

なお、24 時間別測定結果は資料編に示す。

2) 騒音測定（背後地）

背後地の騒音測定結果を表 2.5-3 に示す。

調査結果は、背後地の昼間の L_{Aeq} が 45～50dB、夜間が 46～49dB、昼間の L_{A95} が 38～39dB、夜間が 34～36dB であった。

なお、当該時間における道路端の昼間の L_{Aeq} が 67～75dB、夜間が 63～75dB と
なり 15～28dB 減衰していた。

表 2.5-3 背後地の騒音測定結果

単位：dB

番号	路線 番号	区間 番号	路線名	時間 区分	道路 端の L_{Aeq}	背後地		
						距離	L_{Aeq}	L_{A95}
1	6	10090	一般国道 6 号	昼間	76	66m	50	38
				夜間	74		46	34
2	8	40270	船橋我孫子線	昼間	71	49m	45	39
				夜間	64		49	36

(注) 道路端の L_{Aeq} は背後地測定時間の平均値を示す。

3) 交通量

交通量調査結果を表 2.5-4 に示す。

断面交通量は、昼間が 71～312 台/10 分間、夜間が 23～157 台/10 分間であった。

表 2.5-4 交通量調査結果

番号	区間 番号	路線名	観測 時間	断面交通量 (台/10 分間)					騒音値 L _{Aeq} (dB)
				大型 I	大型 II	小型	二輪	合計	
1	10090	一般国道 6号	6:00～6:10	57	44	199	1	301	76.2
			20:00～20:10	21	16	274	1	312	75.9
			22:00～22:10	4	7	170	4	185	73.4
			23:00～23:10	11	12	130	4	157	74.0
2	22130	一般国道 356号	6:40～6:50	4	6	62	0	72	67.3
			20:30～20:40	3	3	64	1	71	72.7
			22:30～22:40	1	0	33	1	35	65.4
			23:30～23:40	1	1	21	0	23	62.2

(注) 騒音値は、観測時間における道路端の L_{Aeq} を示す。

4) 平均走行速度

平均速度調査結果を表 2.5-5 に示す。

方向別の全車の平均走行速度は、昼間が 39～51km/h、夜間が 34～56km/h であった。

表 2.5-5 平均走行速度

番号	区間 番号	路線名	観測 時間	方向	平均走行速度 (km/h)		
					大型	小型	全車
1	10090	一般国道 6号	6:00	上り (柏市方面)	47	51	49
				下り (取手市方面)	51	51	51
			20:00	上り (柏市方面)	46	49	48
				下り (取手市方面)	47	51	49
			22:00	上り (柏市方面)	51	55	54
				下り (取手市方面)	55	53	54
			23:00	上り (柏市方面)	52	55	54
				下り (取手市方面)	53	56	55
2	22130	一般国道 356号	6:40	上り (印西市方面)	41	40	40
				下り (国道 6号方面)	40	39	40
			20:30	上り (印西市方面)	42	40	41
				下り (国道 6号方面)	42	39	40
			22:30	上り (印西市方面)	34	40	39
				下り (国道 6号方面)	-	39	39
			22:30	上り (印西市方面)	40	41	41
				下り (国道 6号方面)	-	41	41

(注) 表中の「-」は観測時間中に走行車両の走行がなかったことを示す。

3. 面的評価

3. 1 手順等

面的評価は、環境省の「面的評価支援システム Ver.4.1.0」を用いて評価を行った。作業手順を図 3.1-1 に示す。

なお、設定状況は画面出力等を資料編に示す。

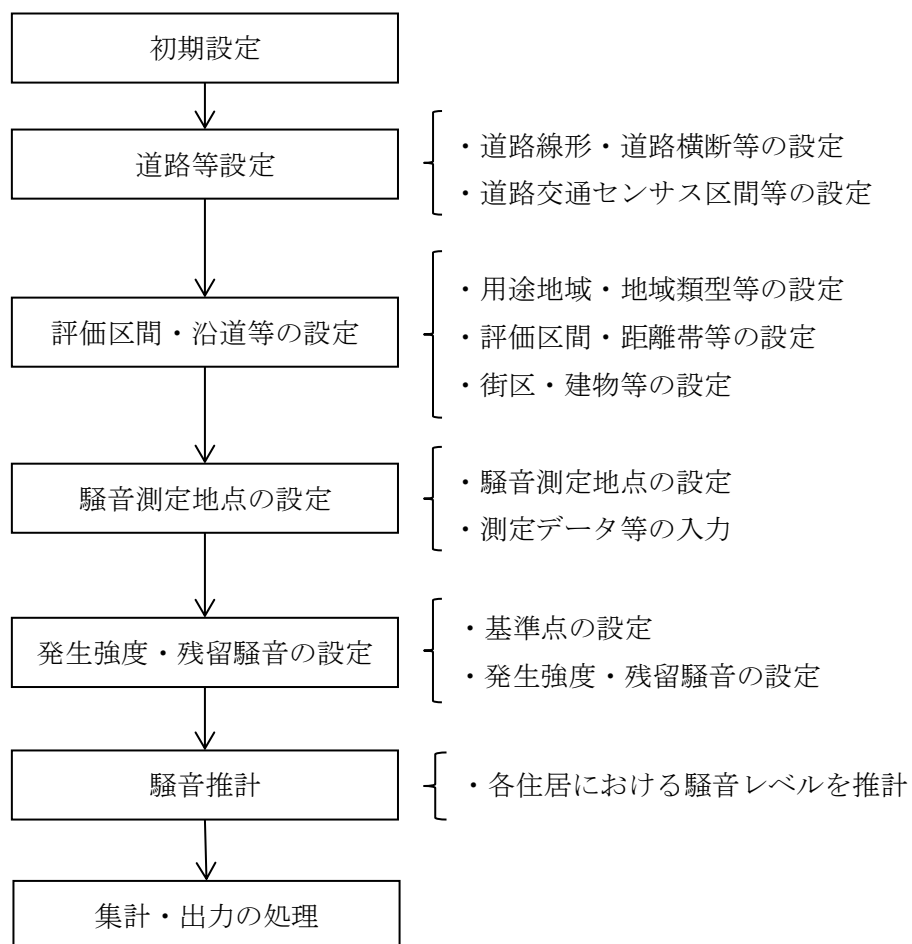


図 3.1-1 面的評価の作業手順

3. 2 面的評価結果

1) 今年度対象区間

今年度対象区間の面的評価結果を表 3.2-1～3.2-3 及び図 3.2-1～図 3.2-3 に示す。

今年度対象区間の評価区間全体では、約 6 割弱～約 10 割の住居等が昼間・夜間ともに環境基準以下であった。

区間別にみると、No.1 (10080 一般国道 6 号) の約 6 割、No.2 (22130 一般国道 356 号) の約 10 割の住居等で、昼間・夜間ともに環境基準以下であった。

また、近接空間では、No.1 (10080 一般国道 6 号) の約 2.5 割、No.2 (22130 一般国道 356 号) の 10 割の住居等で、昼間・夜間ともに環境基準以下であった。

非近接空間では、No.1 (10080 一般国道 6 号) の約 7.5 割、No.2 (22130 一般国道 356 号) の約 10 割の住居等で、昼間・夜間ともに環境基準以下であった。

表 3.2-1 面的評価結果 (評価区間全体)

番号	区間番号	路線名	住居等戸数 (戸)				
			評価対象数	昼間・夜間ともに基準値以下	昼間のみ基準値以下	夜間のみ基準値以下	昼間・夜間ともに基準値超過
1	10080	一般国道 6 号	227	132	53	0	42
2	22130	一般国道 356 号	1289	1286	1	0	2

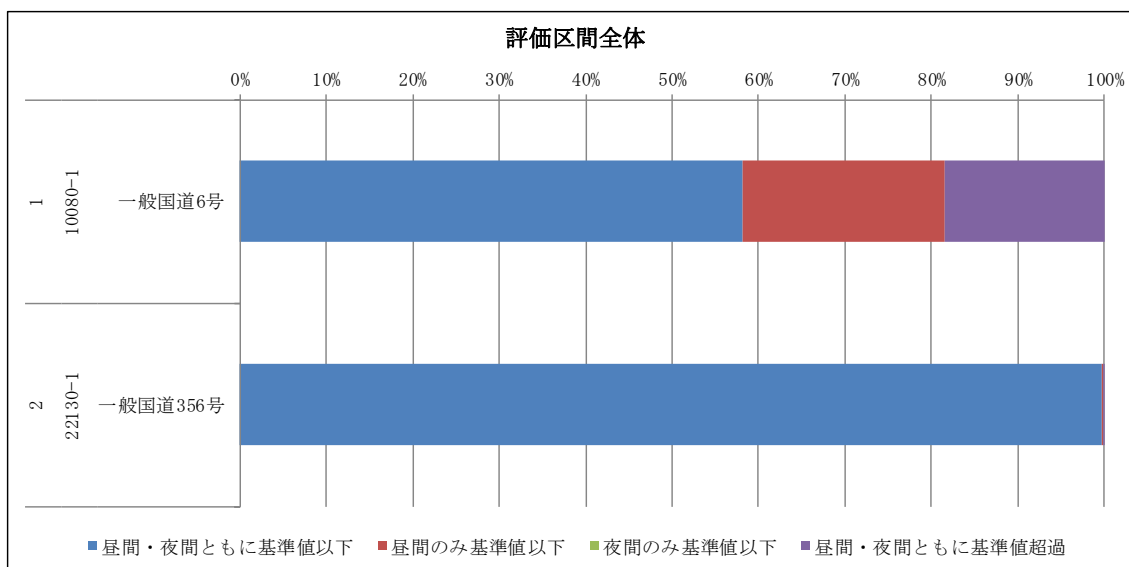


図 3.2-1 面的評価結果 (評価区間全体)

表 3.2-2 面的評価結果（近接空間）

番号	区間 番号	路線名	住居等戸数（戸）				
			評価 対象数	昼間・夜間 ともに基 準値以下	昼間のみ 基準値以 下	夜間のみ 基準値以 下	昼間・夜間 ともに基 準値超過
1	10080	一般国道 6 号	83	22	19	0	42
2	22130	一般国道 356 号	434	434	0	0	0

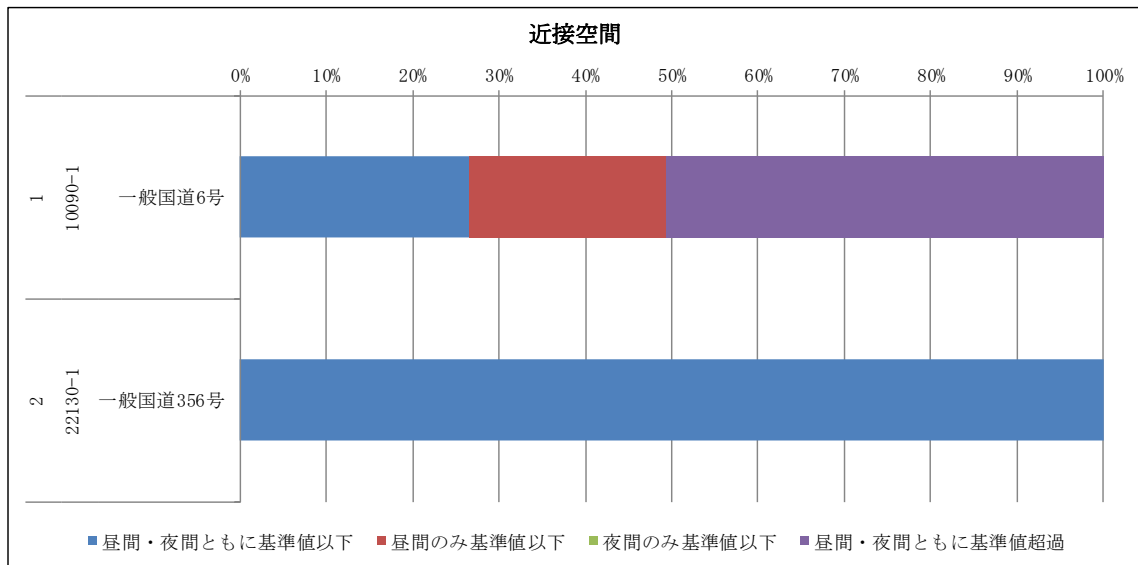


図 3.2-2 面的評価結果（近接空間）

表 3.2-3 面的評価結果（非近接空間）

番号	区間 番号	路線名	住居等戸数（戸）				
			評価 対象数	昼間・夜間 ともに基 準値以下	昼間のみ 基準値以 下	夜間のみ 基準値以 下	昼間・夜間 ともに基 準値超過
1	10080	一般国道 6 号	144	110	34	0	0
2	22130	一般国道 356 号	855	852	1	0	2

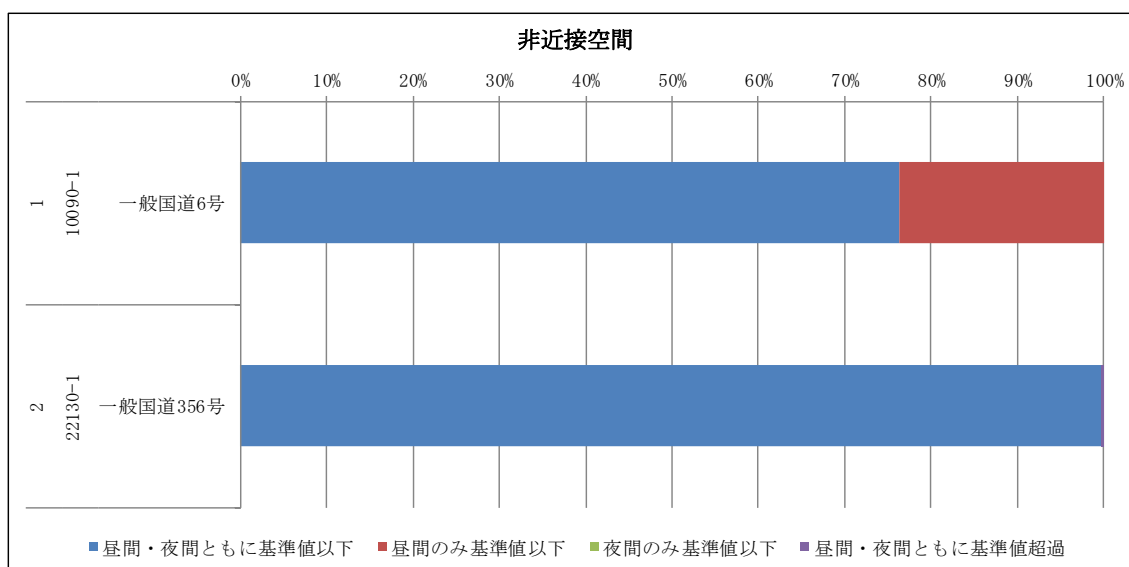


図 3.2-3 面的評価結果（非近接空間）

2) 全評価区間（過年度を含む）の評価結果

過年度の評価区間を含む市内全評価区間の評価結果を表 3.2-4 及び図 3.2-4 に示す。

評価区間全体は約 7.5 割、近接空間では約 6 割、非近接空間では約 8.5 割の住居等が、昼間・夜間ともに環境基準以下であった。

表 3.2-4 全評価区間の面的評価結果

道路種別	住居等戸数（戸）				
	評価対象数	昼間・夜間ともに基準値以下	昼間のみ基準値以下	夜間のみ基準値以下	昼間・夜間ともに基準値超過
評価区間全体	2,862	2,216	440	0	206
近接空間	1,101	693	211	0	197
非近接空間	1,761	1,523	229	0	9

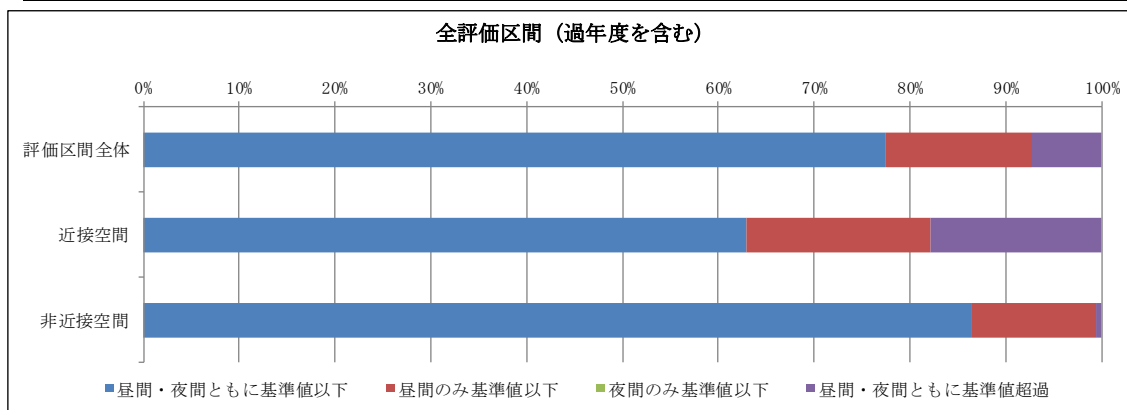


図 3.2-4 全評価区間の面的評価結果

3) 道路種別ごとの評価結果

過年度の評価区間を含む道路種別ごとの評価結果を表 3.2-5～表 3.2-7 及び図 3.2-5～図 3.2-7 に示す。

評価区間全体では、一般国道の約 7.5 割、都道府県道の 10 割の住居等が、昼間・夜間ともに環境基準以下であった。

近接区空間では、一般国道の 6 割、都道府県道の 10 割の住居等が、昼間・夜間ともに環境基準以下であった。

非近接空間では、一般国道の約 8.5 割、都道府県道の 10 割の住居等が、昼間・夜間ともに環境基準以下であった。

表 3.2-5 道路種別ごとの面的評価結果（評価区間全体）

道路種別	住居等戸数（戸）				
	評価対象数	昼間・夜間ともに基準値以下	昼間のみ基準値以下	夜間のみ基準値以下	昼間・夜間ともに基準値超過
一般国道	2,766	2,120	440	0	206
都道府県道	101	101	0	0	0

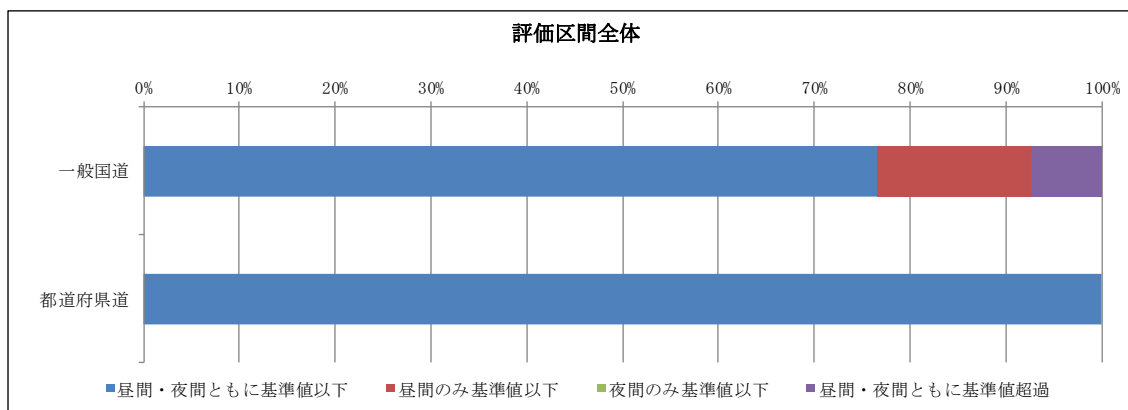


図 3.2-5 道路種別ごとの面的評価結果（評価区間全体）

表 3.2-6 道路種別ごとの面的評価結果（近接空間）

道路種別	住居等戸数（戸）				
	評価対象数	昼間・夜間ともに基準値以下	昼間のみ基準値以下	夜間のみ基準値以下	昼間・夜間ともに基準値超過
一般国道	1,075	667	211	0	197
都道府県道	31	31	0	0	0

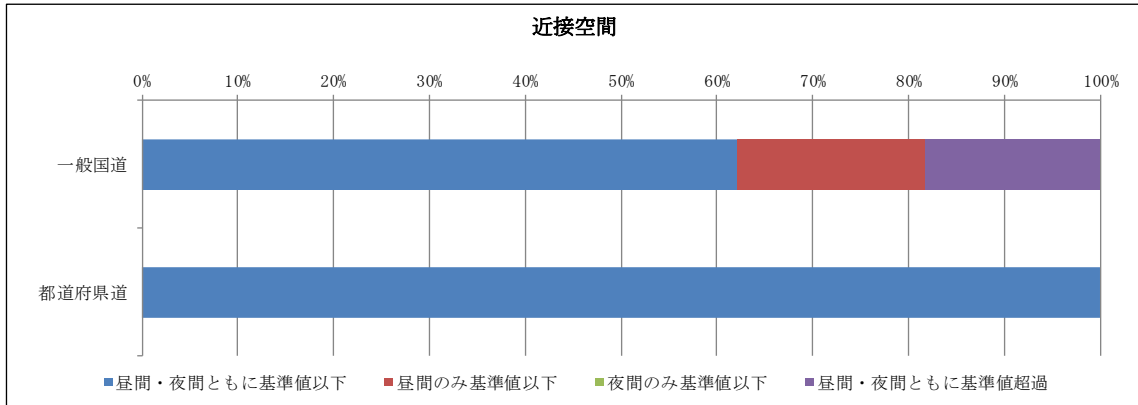


図 3.2-6 道路種別ごとの面的評価結果（近接空間）

表 3.2-7 道路種別ごとの面的評価結果（非近接空間）

道路種別	住居等戸数（戸）				
	評価対象数	昼間・夜間ともに基準値以下	昼間のみ基準値以下	夜間のみ基準値以下	昼間・夜間ともに基準値超過
一般国道	1,691	1,453	229	0	9
都道府県道	70	70	0	0	0

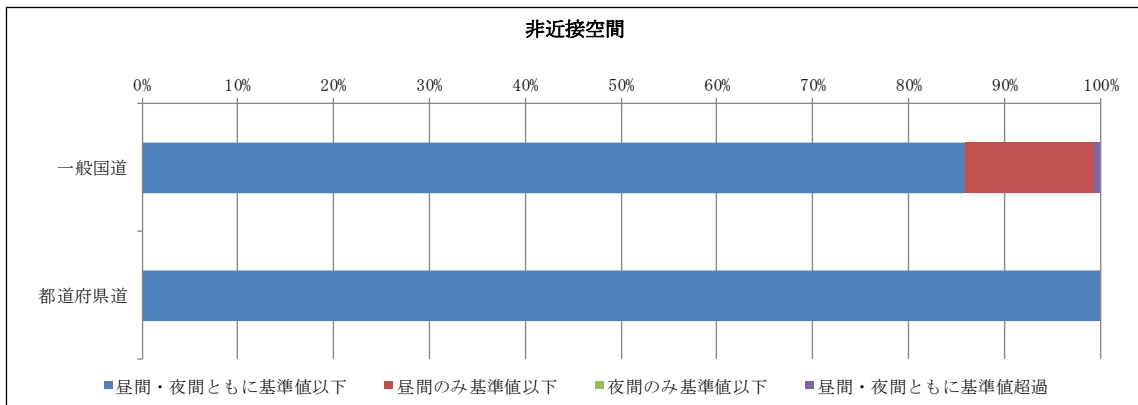


図 3.2-7 道路種別ごとの面的評価結果（非近接空間）